

ご存知ですか？

技士補が創設されました！

請け負える工事数が増加に？

場合によっては『2倍』にも!?

建設業の働き方改革・生産性の向上を目指した

施工管理技士 試験制度

改正まとめBOOK

1 法改正の背景・要点ポイント

2 法改正による経営上のメリット

3 試験制度見直しに向けた対策



第一次検定対策
ガイダンスの詳細は
こちらから！

日建学院

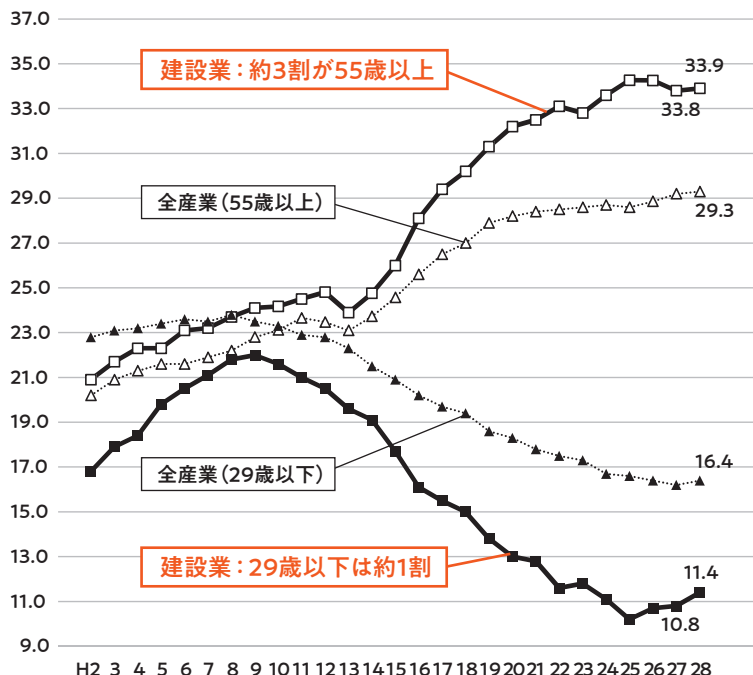
本冊子では、経営者の
皆様の目線に立ち、
その背景やメリットを
わかりやすくお伝え
いたします。

1

法改正の背景・要点ポイント

次世代への技術継承が大きな課題に

近い将来、高齢の建設技能労働者が大量に定年退職しますが、これを補う若手の建設技能労働者の人数が追い付いておらず、**人手不足の問題は深刻になっていくことが想定されます。**



他産業と比べて
55歳以上の割合が高い

人手不足が
深刻な
問題に!

他産業と比べて
29歳以下の割合が低い

出典：総務省「労働力調査」を基に国土交通省で算出

建設業界の働き方改革・人材の有効活用を目指した法改正

2020年4月の働き方改革関連法の施行に伴い労働基準法が改正されたことを受けて、従来から人材不足が深刻な問題となっている建設業界においても、**限りある人材を有効活用するために今回の改正がなされました。**

「建設業は、我が国の国土づくりの担い手であると同時に、地域の経済や雇用を支え、災害時には最前線で地域社会の安全・安心を確保するなど、「地域の守り手」として、国民生活や社会経済を支える上で重要な役割を担っています。一方で、建設業においては、長時間労働が常態化していることから、工期の適正化などを通じた「建設業の働き方改革」を促進する必要があります。

また、現場の急速な高齢化と若者離れが進んでいることから、限りある人材の有効活用などを通じた「建設現場の生産性の向上」を促進する必要があります。

さらに、平時におけるインフラの整備のみならず、災害時においてその地域における復旧・復興を担うなど「地域の守り手」として活躍する建設業者が今後とも活躍し続けることができるよう事業環境を確保する必要があります。

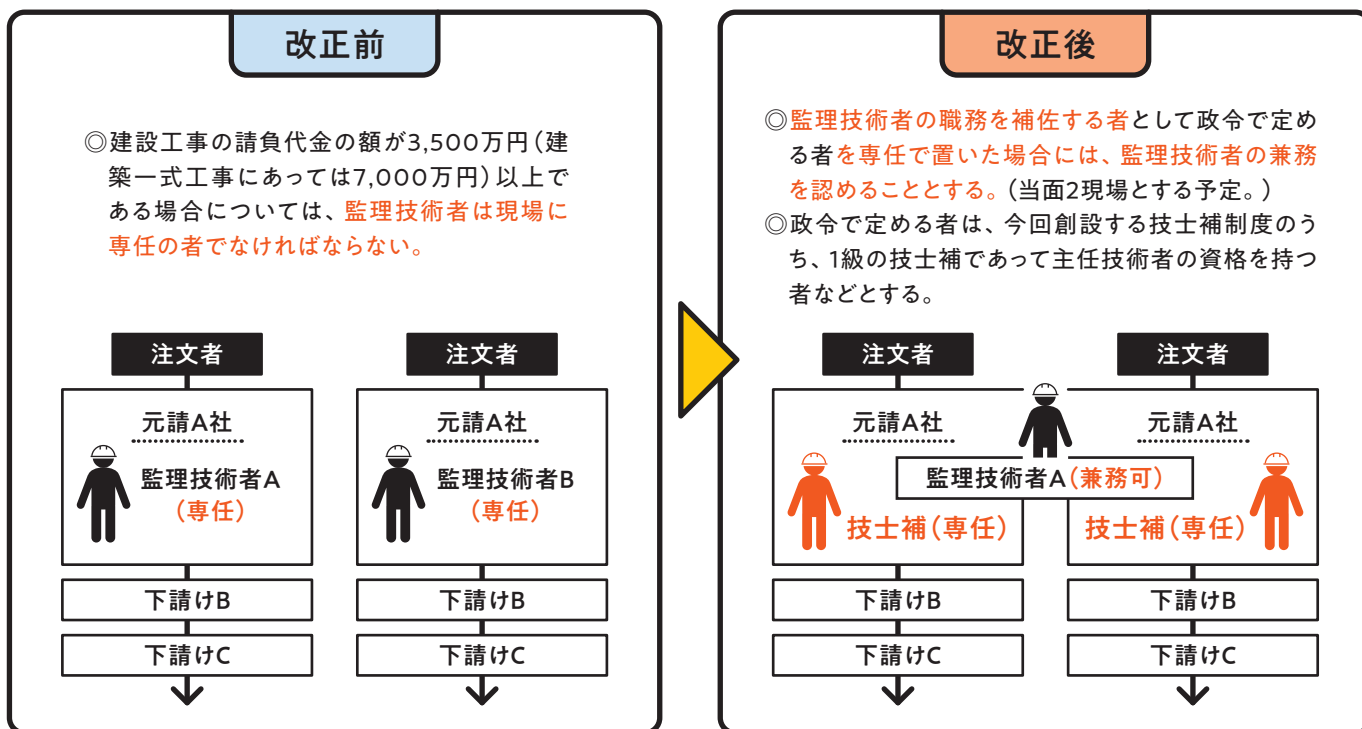
このため、「建設業の働き方改革の促進」「建設現場の生産性の向上」「持続可能な事業環境の確保」の観点から、建設業法・入契法を改正しました。

※出典：国土交通省ホームページより抜粋

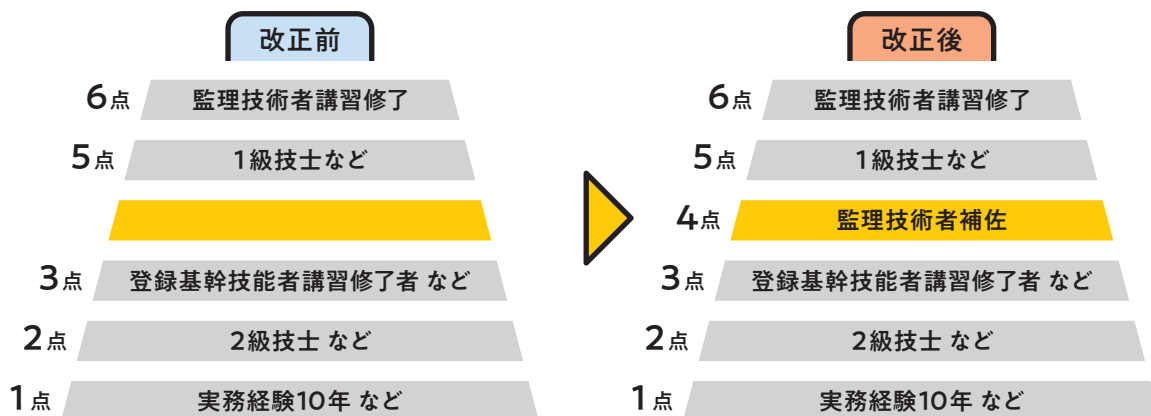
2021年4月より全面施行される建設業法・入契法の改正により、現場では何が変わのでしょうか？
本冊子では、経営者の皆様の目線に立ち、わかりやすくお伝えいたします。

監理技術者の選任の緩和（技士補の創設）

技士補とは監理技術者の職務を補佐する者（監理技術者補佐）
＝「主任技術者となる資格」＋「1級技士補」



監理技術者を補佐する者の新設に係る経営事項審査の改正



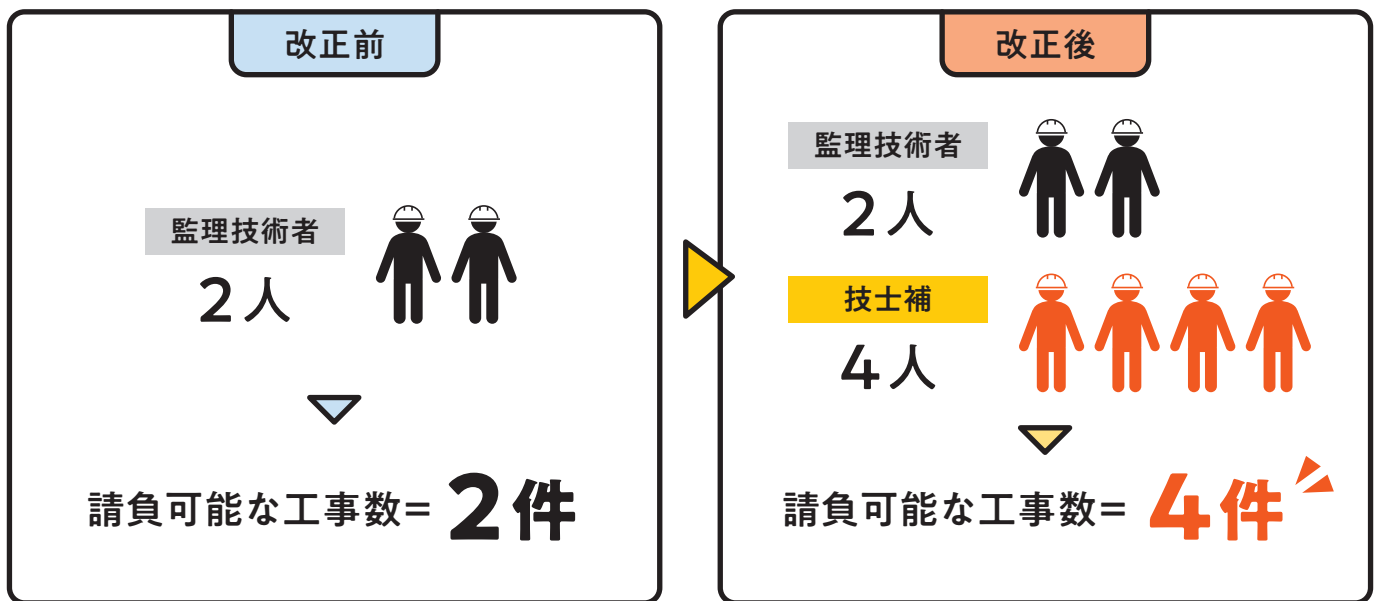
※2021年4月改正予定

◎監理技術者補佐は主任技術者相当の評価（最大3点）より上位であり、
監理技術者相当の評価（5点）より下位である**4点を付与される者**

2 法改正による経営上のメリット

会社経営におけるポイント!

- 法改正前までは、請負可能な工事数≒「監理技術者(一級施工管理技士)」の人数でしたが、改正後は「**技士補**」の配置によっては複数工事を受注できる可能性も。「監理技術者」が現場を兼務(当面2現場まで)できるようになるので、**請負可能な工事数の増加**が見込めます。



● 経営上の3大メリット ●

1 監理技術者の
生産性UP



2 技士補の経験・
技術力UP



3 請負可能な
工事数UP

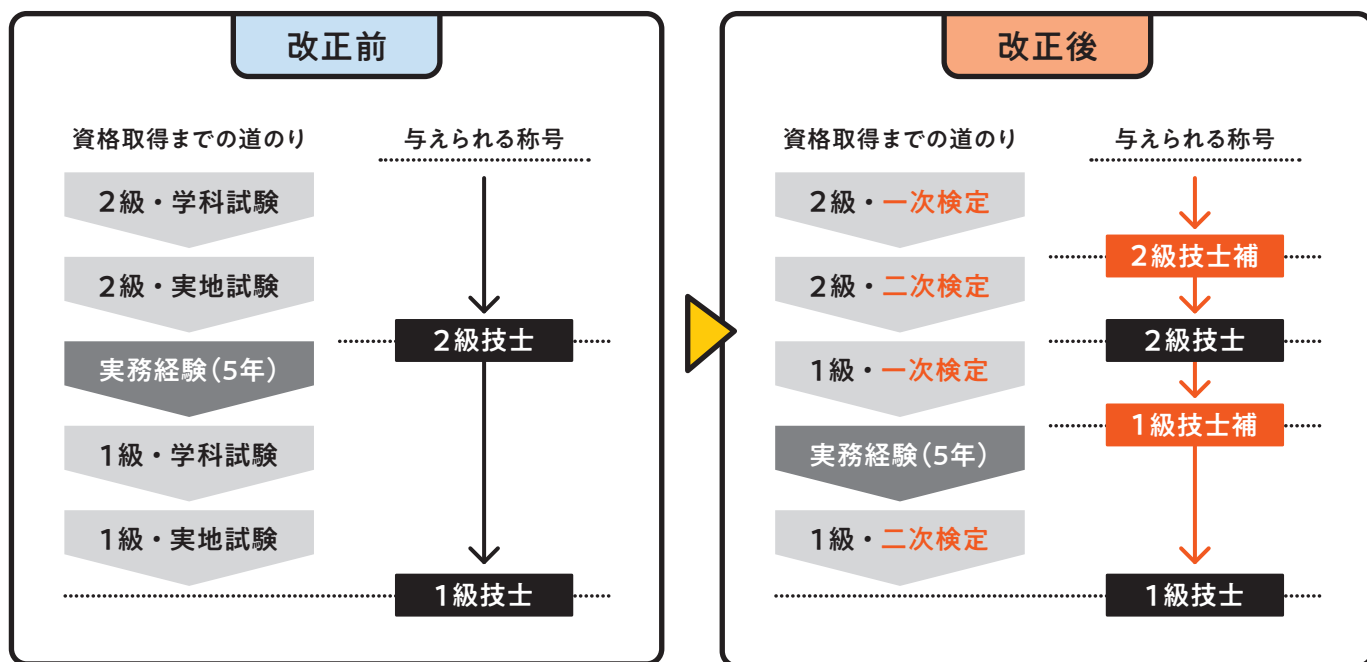


将来の「監理技術者」の卵である
「**技士補**」をいかに育成・配置できるかが重要です!

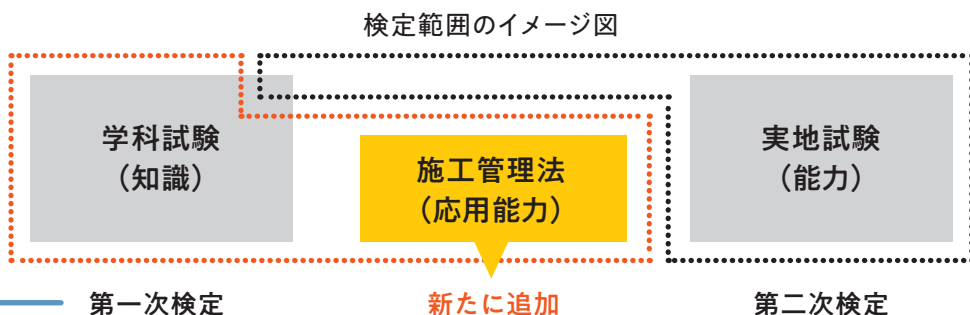
3 試験制度見直しに向けた対策

試験制度の見直しポイント!

- 「学科・実地」から「一次・二次」に名称変更、一次検定のみで「技士補」の称号を取得
- 2級「二次検定」合格者はすぐに1級「一次検定」受験が可能に
- 一次検定合格は無期限有効、所定の実務経験後には何度でも二次検定からの受験が可能に



特に1級の検定基準が改正されたため、今後は専用の対策が必要



- これまで実地試験で問われていた応用能力が一次検定から求められるように
- 1級(建築・土木)施工管理技士 一次検定の合格基準は全体の得点が60%且つ、
施工管理法(応用能力)の得点が60%。二次検定の合格基準は全体の得点が60%

検定基準の改正：1級建築施工管理技士

(一財)建設業振興基金 資料より作成
※赤字：主要な変更点

改正前

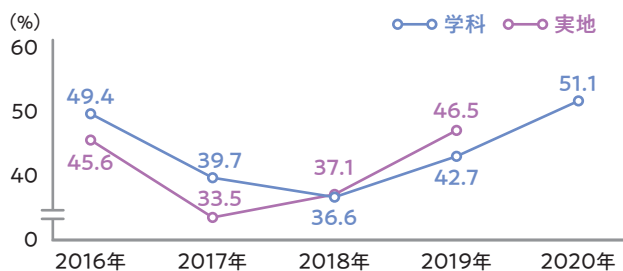
試験区分	試験科目	知識能力	試験基準	解答形式
学科試験	建築学等	知識	1. 建築一式工事の施工に必要な建築学、土工学、電気工学、電気通信工学、及び機械工学に関する一般的な知識を有すること。 2. 設計図書に関する一般的な知識を有すること。	四肢一択 (マークシート)
	施工管理法	知識	建築一式工事の施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する一般的な知識を有すること。	
	法規	知識	建設工事の施工に必要な法令に関する一般的な知識を有すること。	
実地試験	施工管理法	能力	1. 建築材料の強度等を正確に把握し、及び工事の目的物に所要の強度、外観等を得るために必要な措置を適切に行うことができる高度の応用能力を有すること。 2. 設計図書に基づいて、工事現場における施工計画を適切に作成し、及び施工図を適正に作成することができる高度の応用能力を有すること。	記述

改正後

検定区分	検定科目	知識能力	検定基準	解答形式
第一次検定	建築学等	知識	1. 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な建築学、土工学、電気工学、電気通信工学及び機械工学に関する一般的な知識を有すること。 2. 建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な設計図書に関する一般的な知識を有すること。	四肢一択 (マークシート)
	施工管理法	知識	1. 監理技術者補佐として 、建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する知識を有すること。	五肢二択 (マークシート)
		能力	2. 監理技術者補佐として 、建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な応用能力を有すること。	
	法規	知識	建設工事の施工の管理を適確に行うために必要な法令に関する一般的な知識を有すること。	四肢一択 (マークシート)
第二次検定	施工管理法	知識	1. 監理技術者として 、建築一式工事の施工の管理を適確に行うために必要な知識を有すること。	五肢一択 (マークシート)
		能力	2. 監理技術者として 、建築材料の強度等を正確に把握し、及び工事の目的物に所要の強度、外観等を得るために必要な措置を適切に行うことができる応用能力を有すること。 3. 監理技術者として 、設計図書に基づいて、工事現場における施工計画を適切に作成し、及び施工図を適正に作成することができる応用能力を有すること。	記述

※第一次検定及び第二次検定の両方の合格に求められる水準は、改正前の技術検定に求められる水準と同様

1級建築施工管理技士 全国合格率



※2020年度の実地試験合格発表は2021年6月4日です。

2020年度 日建学院の学科合格実績

基準 **70.5%**

7割出席・7割宿題提出

基準達成者数 **413名** 合格者数 **291名**

全国合格率との、その差 **19.4%**!

※全国合格率51.1%※全国合格者数(全国受検者22,742名)11,619名
※上記合格率には通信講座・WEB講座及び模擬試験のみの受験生は一切含まれておりません。

日建学院の講座ラインナップ

コース名	受講スタイル	概要	開講日	学習期間・回数	受講料
1級建築施工管理技士	一次コース 一般教育訓練給付金適用 人材開発支援助成金適用	ステップ1～3の3段階学習法で 万全の試験対策を 試験に直結するポイントを基礎からしっかり学ぶ コースです。広い出題範囲の中から重要項目を 絞り4ヶ月で効率よく学習することで、確実に一 次試験の合格力を養成します。	2021年 2月下旬	約4ヶ月 (28回)	280,000円 (税込308,000円)
	一次Webコース		2021年 2月下旬～ 2021年 本試験日	約4ヶ月 (28回)	280,000円 (税込308,000円)

検定基準の改正：1級土木施工管理技士

改正前

試験区分	試験科目	知識能力	試験基準	解答形式
学科試験	土木工学等	知識	1. 土木工学、電気工学、電気通信工学、機械工学及び建築学に関する一般的な知識 2. 設計図書に関する一般的な知識	マークシート
	施工管理法	知識	施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する一般的な知識	
	法規	知識	建設工事の施工に必要な法令に関する一般的な知識	
実地試験	施工管理法	能力	1. 土質試験及び土木材料の強度等の試験の正確な実施かつその結果に基づいて必要な措置を行う事ができる高度の応用能力 2. 設計図書に基づいて工事現場における施工計画の適切な作成、施工計画を実施することができる高度の応用能力	記述

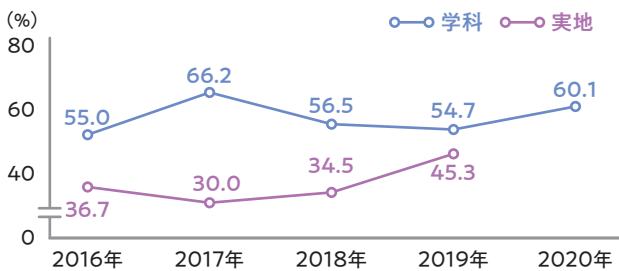
改正後

(一財)全国建設研修センター 資料より作成
※赤字：主要な変更点

検定区分	検定科目	知識能力	検定基準	解答形式
第一次検定	土木工学等	知識	1. 土木工学、電気工学、電気通信工学、機械工学及び建築学に関する一般的な知識 2. 設計図書に関する一般的な知識	マークシート
	施工管理法	知識	1. 監理技術者補佐としての 、施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する知識	
		能力	2. 監理技術者補佐として施工の管理を適確に行うために必要な応用能力	
法規	知識	建設工事の施工に必要な法令に関する一般的な知識		
第二次検定	施工管理法	知識	1. 監理技術者として工事の施工の管理を適確に行うために必要な知識	記述
		能力	2. 監理技術者として 土質試験及び土木材料の強度等の試験の正確な実施かつその結果に基づいて必要な措置を行うことができる応用能力 3. 監理技術者として 設計図書に基づいて工事現場における施工計画の適切な作成、施工計画を実施することができる応用能力	

※第一次検定及び第二次検定の両方の合格に求められる水準は、改正前の技術検定に求められる水準と同様

1級土木施工管理技士 全国合格率



※2020年度の実地試験合格発表は2021年3月12日です。

2020年度 日建学院の学科合格実績

基準 **7割出席・7割宿題提出**

78.6%

基準達成者数 **583名**中 合格者数 **458名**

全国合格率との、その差 **18.5%**!

※全国合格率60.1%※全国合格者数(全国受験者29,745名)17,885名
※上記合格率には通信講座・WEB講座及び模擬試験のみの受験生は一切含まれておりません。

日建学院の講座ラインナップ

コース名	受講スタイル	概要	開講日	学習期間・回数	受講料
1級土木施工管理技士	一次コース 一般教育訓練給付金適用 人材開発支援助成金適用	基礎から徹底マスター フルスペックで揃った濃密なカリキュラム 基礎講義→合格講座→直前講座→公開模試の流れで着実に合格力を積み重ねます。一次試験の出題傾向、重要ポイントを学習し合格力を養成します。	2021年 3月中旬	約4ヶ月 (28回)	280,000円 (税込308,000円)
	一次Webコース 一般教育訓練給付金適用 人材開発支援助成金適用		2021年 3月中旬～ 2021年 本試験日	約4ヶ月 (28回)	280,000円 (税込308,000円)

日建学院のNPC

(ニッケン・パートナーシップ・クラブ)

ご入会の3大メリットはこちら! 『全て無料』でご利用いただけます。
人材育成に是非お役立てください!

1 受験願書取り寄せ代行サービス

わずらわしい受験願書の取り寄せを当社にて無料で代行いたします。

- 入手し忘れを防ぐことができます!
- 必要部数をお伝えただけでOK!
- 記入方法もお気軽にご相談ください!

2 貴社のニーズに沿った資格ガイダンス

資格取得への動機づけを促すガイダンスから各種国家試験の合格率等の情報、具体的な本試験の概要など、高い分析力を誇る日建学院ならではの様々なガイダンスをご用意しています。貴社のニーズに沿ったご提供を致します。

(例)	4月	7月	10月	1月
	新入社員向けガイダンス		入社内定者向けガイダンス	
	各種受験対策ガイダンス			
	模擬試験解説講義		本試験検証ガイダンス	

※実施時期は各試験により異なります。

3 各種模擬テストの実施

各種資格取得のために様々なテストをご用意しています。「体験してみる」「実力を把握する」ことで、社員様の資格取得に向けた意欲を引き出してください。

他にも貴社に役立つサービスを多数ご用意しております。
まずはお気軽に資料請求ください!



お問合せ・資料請求・試験情報

日建学院コールセンター

TEL  0120-243-229

[受付]AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)
株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1

WEB

日建学院の
ホームページは
こちらから▶



お近くの
日建学院は
こちら▶